

## シンポジウム

テーマ 「つながる消費者教育 おかやまの試み」

シンポジスト 立岡しのぶ氏（岡山県県民生活部くらし安全安心課総括参事）  
 岡林敏隆氏（岡山市教育委員会指導課長）  
 森 雅子氏（ノートルダム清心学園清心中学・清心女子高等学校副校長）  
 中田行一氏（消費者啓発ボランティア講師・元岡山県消費生活センター所長）  
 柿野成美氏（消費者教育支援センター総括主任研究員）

コーディネーター 東 珠実氏（日本消費者教育学会会長・椋山女学園大学教授）

## 開催日程

	事項	時間	場所
14日 (土)	受付	10:00~	3階
	役員会	11:00~12:00	401
	シンポジウム	13:00~15:00	301
	総会	15:30~16:30	301
	休憩室		401
	懇親会	18:00~20:00	naive*
15日 (日)	受付	9:00~	7階
	研究発表		
	第1会場	9:30~16:10	706
	第2会場	9:30~16:10	705
	第3会場	9:30~16:10	704
	第4会場	9:30~16:10	703
	ポスターセッション	10:40~11:10	702
	昼食・休憩	12:20~13:20	702・708

\*懇親会場所 岡山市北区本町8-15 本町プラザ2F

## 参加申込み

【方法】本学会ホームページの「参加申込みフォーム」からお申し込みください。QRコードからも入力画面に移動できます。

【締切】9月8日（金）

スマートフォンからも申込み可



## 参加費等の払込み

【方法】合計金額を、ゆうちょ銀行へお振込みください。

◆ゆうちょ銀行から振込  
 記号：15470 番号：39578871  
 名義：日本消費者教育学会中国・四国支部

◆他の金融機関からの振込  
 店名：五四八 店番：548 普通  
 口座番号：3957887  
 名義：ニホソヨクヒヤキョウイカク カイテウカク・ソウケンブ

【締切】9月8日（金）

会 員	3,000円（当日4,000円）
学 生	1,000円
非 会 員	2,000円（資料代）
昼 食	1,000円（15日のみ）
懇 親 会	会員 4,000円（事前申込のみ） 学生 3,000円（事前申込のみ）

◎岡山県民一般は別途扱い

## 開催のごあいさつ

日本消費者教育学会会長 東 珠実  
（椋山女学園大学 教授）

# 日本消費者教育学会 第37回

## 全国大会プログラム



開催期日 2017年10月14日~15日(土・日)

会 場 きらめきプラザ/岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館

700-0807 岡山市北区南方 2-13-1

共催 岡山県

後援 岡山県教育委員会・岡山市

このたび、日本消費者教育学会第37回全国大会が岡山で開催されることになりました。本大会では、開催地の特徴を生かしたシンポジウムや、多くの学会員による研究発表が予定されています。

この1年を振り返りますと、消費者市民社会の実現をめざす行動、とりわけエシカル消費への関心が高まるなかで、食品ロス削減への取組なども活発化しています。また、今年3月に改訂された小・中学校学習指導要領では消費者教育の充実がはかられ、他方で、民法の成年年齢引下げの議論においても、若年者への一層の消費者教育の必要性が指摘されています。

このように消費者教育への社会的な関心や期待が高まるなか、本大会の開催にご尽力くださった田村久美大会実行委員長をはじめ、中国・四国支部の皆様にご心より感謝を申し上げます。

## 歓迎のことば

第37回全国大会実行委員長 田村 久美  
（川崎医療福祉大学 准教授）

第37回全国大会は、5年ぶりの岡山県での開催となります。シンポジウムでは、東珠実会長のコーディネートにより、さらなる消費者教育推進にむけて各シンポジストのお立場から、取組内容と未来構想についてご提言いただきます。2日目には、42件の研究発表が予定されており、各会場で活発な議論が展開されますことを願っております。

2日間の大会にご参加いただく皆様にとって、有意義な時間になるよう準備を進めて参ります。多くのご参加を中国・四国支部一同、心よりお待ちしております。

□頭発表 15日(日) 9:30~16:10

研究発表プログラム

第1会場 706

【午前の部】9:30~12:20

1	全国の地方自治体における消費者教育推進計画の策定状況とその内容分析 ○色川卓男(静岡大学)
2	消費者庁先駆的プログラムに採用された行政とNPO連携による特別支援学校の消費者教育ニーズ調査と教材開発 ○何慧貞(NPO法人C・キッズ・ネットワーク) 小川桂子・蘆田知子・大森節子(NPO法人C・キッズ・ネットワーク)
3	消費者市民を育成するための“こどものまち”に関する実践的研究 ○小田奈緒美(就実短期大学) 東珠実(椋山女学園大学)
4	消費者市民の育成をめざす「こどものまち」の分析—なごやHAPPYタウンの現状と課題— ○東珠実(椋山女学園大学) 小田奈緒美(就実短期大学)
5	消費者市民を育成する「すごろく」の開発と授業実践 ○野中美津枝(茨城大学) 高崎昌己(茨城大学教育学部附属中学校)

【午後の部】13:20~16:10

6	若者の環境意識と行動 ○大藪千穂(岐阜大学)
7	消費者市民社会の実現への「双方向コミュニケーション」の可能性—高齢者・子育て層・大学生と企業での実践より— ○川口徳子(日本ハム株式会社)
8	消費者市民社会構築に向けた大学生消費者リーダー育成の意義と展望 ○雪美保子(京都府消費生活安全センター/同志社大学大学院)
9	調理実習と関連を図った消費者市民教育カリキュラムによる社会参画意識の形成 ○加賀恵子(大阪教育大学)
10	中学生における「自立した消費者」育成の課題 ○大谷和海(関西大学中高等部)

第2会場 705

【午前の部】9:30~12:20

1	教員養成における繊維製品のラベル作りを取り入れた授業実践 ○佐藤麻子(東京学芸大学附属大泉小学校) 山本紀久子(元茨城大学)
2	消費者教育実践の場としての放課後児童クラブ(学童保育)の特徴—プリシード・プロシードモデルを援用した試行の検討から— ○片平理子(神戸松蔭女子学院大学) 千歳万理(同)・神澤佳子(奈良県消費生活センター)・河村美穂(埼玉大学)
3	契約概念の素地を培う小学校消費者教育の検討—生活科における実証的研究— ○石川芳恵(大分市立南大分小学校)
4	話し合いの仕方による消費者教育の授業における学びの質の違い ○上野顕子(金城学院大学) 清水克博(名城大学附属高等学校)・長谷川元洋(金城学院大学)・新谷洋介(NISE)
5	小学生を対象とした消費者教育の事例分析 ○柏木信一(広島修道大学) 天野恵美子(関東学院大学)

【午後の部】13:20~16:10

6	学校教育における消費者教育の新たな可能性—探究学習の実現— ○松葉口玲子(横浜国立大学)
7	大学初年次における消費者教育の実践と評価の試み ○神山久美(山梨大学)
8	大学における消費者教育—教養科目への導入の試み— ○嶋津裕子(兵庫大学)
9	消費者のジレンマ調査分析と教材作成への取り組み—アクションゲームを使ったリーダー養成— ○加渡いづみ(四国大学短期大学部)
10	食品ロスを減らすために—フードバンク関西と連携した教育プログラムの開発と実施— ○大森節子(NPO法人C・キッズ・ネットワーク)

第3会場 704

【午前の部】9:30~12:20

1	消費生活サポーター養成講座における課題—消費者市民育成の観点から— ○釘宮悦子(NACS消費生活研究所)
2	消費者教育コーディネーターの役割と課題 ○矢吹香月(岡山県消費生活センター)
3	消費生活相談員が実施する消費者教育の現状と課題—高校生の消費者教育を中心に— ○柿沼由佳(消費者教育研究所)
4	学校教育活動における外部人材の活用 ○坂田雅也(徳島県消費者情報センター)
5	大学生と環境NPOの連携による消費者教育ナビゲーターの育成—地方都市における消費者教育推進の試み— ○財津庸子(大分大学)

【午後の部】13:20~16:10

6	ソーシャルファイナンスへ移行する消費者 ○橋長真紀子(札幌学院大学)
7	子育て世代向け金融教育プログラムの考察—沖縄における「くらしとお金の教室」を事例として— ○中川壮一(消費者教育支援センター) 花城梨枝子(琉球大学)
8	全国の特別支援学校における金銭管理教育と社会資源の活用について ○小野由美子(東京家政学院大学) 川崎孝明(尚絅大学短期大学部)
9	Fin Tech時代の金融経済教育の重要性と課題 ○松島一恵(NACS消費生活研究所)
10	パーソナルファイナンスの導入を目指したキャリア教育の授業に関する考察 ○三宅元子(名古屋女子大学)

第4会場 703

【午前の部】9:30~12:20

1	福祉従事者における消費者教育の現状と課題—高等学校福祉教育の視点から— ○立石麻美子(ノートルダム清心女子大学) 水谷節子(元ノートルダム清心女子大学)
2	中学校家庭科消費生活領域における防災学習の検討—東日本大震災以降の災害関連消費者問題及び防災ブックレット等の分析を通して— ○末川和代(日本女子大学大学院) 天野晴子(日本女子大学)
3	デジタルコンテンツ利用を題材とした動画教材の評価—大学生による教材評価を基に— ○奥谷めぐみ(福岡教育大学) 鈴木真由子・大本久美子(大阪教育大学)
4	コンシューマー・リーガルリテラシーを育む道德教育—日本と韓国の「道德」に注目して— ○大本久美子(大阪教育大学) 鈴木真由子(大阪教育大学)
5	高齢者を対象とした「うそ電話詐欺」被害防止講座モデルの開発 ○石橋愛架(鹿児島大学)

【午後の部】13:20~16:10

6	若者における契約することへの理解についての属性間分析 ○寺地一浩(日本経済大学)
7	格差社会と消費者問題—消費者ローン・教育・住宅についての諸問題からの考察— ○八代田道子(NACS消費生活研究所)
8	消費者製品安全教育の現状と課題—大学生を対象としたアンケート調査を基に— ○石川智子(大阪教育大学大学院) 大本久美子(大阪教育大学)
9	生鮮食品の表示と消費者教育—機能性表示食品の事例考察— ○藤原なつみ(立命館大学)
10	医療サービスデジタリテラシーから消費者教育への展開 ○田村久美(川崎医療福祉大学)

ポスターセッション 15日(日) 10:40~11:10(会場:702)

1	地域の特徴を生かした消費者教育—エソシカを題材とした消費者教育の実践— ○鎌田浩子(北海道教育大学)
---	---

2	離島における共同売店の存続意義 ○赤星礼子(元佐賀大学)・川口恵子・川崎孝明(尚絅大学短期大学部)
---	--

